

日経平均株価の下落についての会頭コメント

世界的な株価急落の連鎖による今回の日経平均株価の下落は、景気の後退局面にある日本経済にとっては、大きな打撃であるが、投資マネーの動きに翻弄されることのないようにしたい。

景気後退局面の中で、足踏みする余裕はないので、政局にとらわれることなく、よりスピード感を持って柔軟に対応すべく、まず今年度の補正予算を可及的速やかに成立させてほしい。

また、政府の補正予算案は、今回の金融危機への対策が盛り込まれておらず、深刻さを増した金融混乱が、实体经济・中小企業へ景況を与えることは避けられない。必要な公共投資の前倒しや、法人税率の引き下げなど中長期的な成長力の強化を目指した、追加的な経済対策を講じる必要がある。

以上

平成20年10月7日
京都商工会議所
会頭 立石 義雄